

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城県立東海高等学校 担当教諭名 会沢清恵

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成23年 12月 1日(木) 13:20 ~ 15:30
対象学年と人数	第3学年1組 37名
派遣講師名と出身国	コーディネーター: 村尾光子 講師: 田中アルバ(ニカラグア出身), マイ チュイ ティ チュ(ベトナム出身)
活動の内容	貿易ゲーム 外国人講師とのディスカッション
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	本校のように姉妹校や定期的な国際交流事業が少ない学校にとって、ワールドキャラバンは国際社会を知ることができる貴重な事業である。生徒たちも教員からでなく外部講師から授業を受けることによって、情報を新鮮に受け止めることができる。今後も活用していきたい。
生徒・保護者等参加者の感想	【生徒感想抜粋】 <ul style="list-style-type: none">・ 世界経済の動きを身を持って知ることができる貴重な体験ができてよかった。・ 日本はとても豊かな国だと改めて感じた。少しでも発展途上国の助けになれるように募金などをしたいと思った。・ 世界や文化の違いが分かり、楽しかった。・ 先進国と途上国の貿易について詳しく調べたいと思った。・ 日本は「狭くて固い」、外国は「広くて柔らかい」イメージを持った。・ いつかどこか遠くの国に行き、文化に触れてみたい。・ 日本のことだけでなく、他国についても考えたいと思った。・ 国が違うだけで、性格も考え方も価値観も様々だと思った。・ 日本でできることを当たり前だと思わずに、世界に目を向けてみたいと思う。そして自分にできることを探し、実行したい。・ 幸せはお金じゃない。家族や友達だ。・ 今まで知らなかったことを学ぶことができたので、非常の良い勉強になったし、世界への視野が広がった。・ 他の国を知ること、自分の国を見直すことができる。・ 貿易ゲームを通して、世界では貧しい国がとても多いと感じた。援助を受けてもなかなか先進国に追いつくことが難しいと感じた。・ 日本にただいでは分からないことがたくさんあるので、国際理解は大切だと思った。・ 日本に住んでいる私たちには当たり前のことでも、外国から来た人には珍しいことを直接聞いて楽しかった。・ ゲームから世界の国の関係や状況を知ることができてよかった。以前より外国に興味を持つことができた。・ 日本人と外国人の考え方が違うことがよくわかった。・ 外に出ることが言語を学ぶことにつながるということがわかった。私も言語を身につ

	<p>けたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 留学は自分の成長になるんだと思った。・ 世界っていろいろなことがあって楽しいと思った。・ 日本の豊かだけど、無駄にしているものがたくさんあるのだと思った。今まで時間に縛られていたと思うけれど、気持ちをリセットして穏やかに考えようと思った。
先生の感想	<p>ファシリテーターの村尾さん、外国人講師のマイさん、アルバさんのおかげで、とても楽しい時間を過ごすことができました。貿易ゲームを通して、今まで気づかなかった世界の状況を知ることができました。そして自分たちが裕福な国に生まれ、恵まれた環境にいることに気付くことができたと思います。これから社会に巣立つ3年生にとって、世界に視野を広げる良い機会になりました。これからもワールドキャラバンを活用させていただきたいと思います。</p>

